

公共交通ニュース vol. 17 2014. 5. 26

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

1年間「飯能ワンコインゾーン」を実施しています。

国際興業バスでは、飯能駅から近距離区間のエリアで、現金・ICカードともに大人100円、こども(小学生)10円でご利用いただける「飯能ワンコインゾーン」を5月16日(金)から1年間の実証実験をしています。

この「飯能ワンコインゾーン」は、湯の沢・名郷・名栗車庫・上赤沢・中沢・中藤の各路線、間野黒指線、西武飯能日高線は飯能駅～飯能河原の区間、こまニュータウン・埼玉医大の路線は飯能駅～飯能高校の区間、新光・市営住宅の路線は飯能駅～市役所前の区間です。

この区間には、市役所、スーパー、高校、飯能河原、医療機関などがあります。飯能駅から東飯能駅の区間も「ワンコインゾーン」です。ヤマノススメの聖地もこのゾーン周辺に点在しています。飯能駅と東飯能駅の移動に、また雨の日やたくさんお買物をしたとき、お子さんの安全確保や通院など、「飯能ワンコインゾーン」をご利用ください。

多くの方々に利用していただくことが、「飯能ワンコインゾーン」の継続につながります。

また、「飯能ワンコインゾーン」の実証実験と併せて、旧市立図書館前のバス停名称「市立図書館」を昨年放送された「アド街ック天国」でも1位に選ばれました「飯能河原」に変更しました。



「ヤマノススメバス」2号車、3号車が登場しました。

アニメ「ヤマノススメ」は飯能市を舞台に、少女たちが登山を通して友情を深め、互いに成長していく姿を描いた物語です。

昨年1月から3月に放送された第1弾では、「天覧山」や「飯能河原」が登場し、また、原作では「棒ノ嶺」や「さわらびの湯」が登場しています。好評につき、第2弾が7月から放送されることに合せ、「ヤマノススメバス」2号車、3号車が登場しました。

昨年8月から運行を始めた1号車は車体に主人公たちを描き、車内に原画を展示しています。

2号車は白を主体とした車体カラーにヤマノススメのシンボルマークである、くつのマークをあしらひ、原作者描き下ろしのキャラクターたちが飯能市の風景を散策しています。

3号車は、車体左側に青空、右側に星空をイメージし、キャラクターたちが作品のさわやかさや楽しさを再現しています。

また2号車、3号車は、車内天井や座席シート、精算機などにキャラクターが登場するなど「見て楽しい、乗って楽しい」バスになっています。

「ヤマノススメバス」を見るだけでなく、ぜひ乗って楽しんでください。

運行ダイヤは国際興業ホームページで公開しています。



1号車



2号車



3号車



2、3号車 天井

※公共交通ニュースは地区行政センター及び市ホームページでご覧いただけます。

飯能市役所企画総務部企画調整課
総合政策・交通政策担当